

日本  
共産党

# 八幡市議会 報告ニュース

くわしの相  
お気軽に

森下 由美市議(981)8331  
松島規久男市議(983)2987  
巖 博市議(982)9663  
山本 邦夫市議(982)8844  
亀田 優子市議(982)1277

2013.10.13 No.539 連絡先 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005  
市議会ホームページ<http://park19.wakwak.com/~jcp-ywta/> メール [jcp-ywta@am.wakwak.com](mailto:jcp-ywta@am.wakwak.com)

## 子どもの医療費無料化 中学卒業まで

# 必要額は年1900万円

## 八幡市議会 決算審査で 来年度からの実施を迫る 日本共産党

八幡市議会の2012年度決算委員会で、子どもの医療費の無料化(通院)について、現行の「小学6年生まで」から「中学卒業まで」に拡充した時の市の予算必要額は従来の説明より大幅に下回る年間1900万円で済むことが明らかになりました。

### 過去の試算の半分

市は、これまで中学生の医療費無料化には年間3800万円が必要と答弁していました。昨年7月から小学校卒業まで無料化した実績に基づいて、改めて中学卒業まで無料化した際の費用を計算し直したところ、約半額の費用で実施できることが明らかになりました。

八幡市では、市民と日本共産党の運動のなかで、子どもの医療費の無料化が一步一步拡充されてきましたが、市はそのたびに財源など

を理由に消極的な姿勢を繰り返してきました。

新たな試算で必要額が1900万円となったことで、もう「財源がない」などとして無料化拡充を拒む根拠は崩れました。八幡市は、3年連続して7億円ペースで基金を積み上げ、2013年3月時点で基金総額は67億円に膨らみました。日本共産党市議会議員団は、決算委員会で、子どもの医療費無料化を来年度から中学校卒業までに拡充することを求めました。

### 市民の世論広げて実現を

毎年、市民のみなさんが取り組んでおられる子どもの医療費無料化、中学校給食の実現、35人・30人学級の実施などの子育て署名が今秋も取り組まれています。子どもの医療費無料化などの子育て支援拡充の世論を広げましょう。

## 大雨・浸水対策

防災広場、あさかぜ公園

# 調整池を検討



満水状態の大谷川=9月16日

八幡市を2年連続襲った大雨被害。市は、「雨水排水対策」について業務委託し検討作業を進めています。9月議会・都市環境委員会では、浸水被害の集中した大谷川・軸川での検討結果が報告されました。

### 1時間62ミリの降雨に対応

報告によれば、2つの河川については住宅密集地で大規模な水路改修は困難とした上で、10年確率降雨(1時間62ミリ)に対応するため、地下に貯水槽を埋設する調整池などを設置する方向を打ち出しています。設置場所は、①市民防災広場(消防署横)、②あさかぜ公園(南ヶ丘教育集会所横)の2ヶ所。概算費用は8億〜9億円強。

ひきつづき、他の河川についても雨水排水計画の検討作業を進めていく予定。